

Pioneer



**重  
要**

最初に行ってください。  
「3Dハイブリッドセンサーをリセットする」  
24ページ

DVDカーコンピューター

# AVIC-D9100

スタートブック

取り付けが終わったら

**はじめに  
読む本**

1

必ず、お読みください。

取扱説明書の分冊構成については、  
4ページでご確認ください。

**carrozeria**

目次 6ページ

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

### [異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



規定容量の  
ヒューズを



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# このような順に説明書をご覧ください

## 1. 取り付けや接続を行うときに読む

「取付説明書」をお読みください。オーディオ機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



## 2. 本機を使い始める前に読む

「スタートブック」(本書)をお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始めるまでに必要な操作である、ディスクのセットのしかたや電源の入れかた、3Dハイブリッドセンサーのリセットの説明をしています。



## 3. ナビゲーションの基本的な操作に慣れるまでは

「クイックブック」をお読みください。ナビゲーションの基本的な使いかたを、ふだんよく使う機能を中心に説明しています。



本機には、4種類の説明書が同梱されています。ご利用状況に応じて使い分けてください。

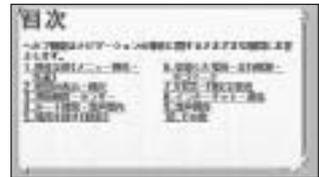
#### 4. ナビゲーションの機能をもっと活用したいときに読む

『ナビゲーションブック』をお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。



#### 使い方Q&Aを活用する

「なぜ こうなるのだろう?」といった疑問に対して答えやアドバイスを画面に表示させることができます。  
(『ナビゲーションブック』付録「使い方Q&Aを見る」)



#### Memo

説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。  
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。



初めてお使いになるときは、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください（「リセット作業を行う」24ページ）。3Dハイブリッドセンサーのリセットを行わないと、ナビゲーションの誤差が大きくなる場合があります。

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
このような順に説明書をご覧ください	4

## 1. はじめに

主な特長	8
ご使用前に知っておいていただきたいこと	10

## 2. 準備

準備1:リモコンの準備をする	12
リモコン設定スイッチを切り換える	12
リモコンに電池をセットする	13
準備2:各部のなまえと主な働きを知る	14
ナビゲーション本体	14
リモコン/音声認識コントローラー/マイク	16
リモコンの操作モードについて	18
リモコンのジョイスティック/[決定]ボタンの使いかた	20
準備3:ディスクを本体にセットして電源をONにする	22
電源の入れかた	22
電源の切りかた	23
準備4:3Dハイブリッドセンサーをリセットする	24
リセット作業を行う	24
エラーメッセージが表示されたときは	26

## 3. TVモニターの操作

テレビを操作する	28
見たい映像に切り換える	28
ワイド画面の拡大のしかたを変える	29
2画面で見る	30
カーステレオからテレビの音声を出力する （音声ソース切り換え）	31
リストを表示してチャンネルを選ぶ	32
自分がある地域のチャンネルを選ぶ（エリア選局）	33
一覧表示されないチャンネルを見る	34

---

## 4. その他の操作

---

PCカードの取り付けかた・取り出しかた	36
PCカードの取り付けかた	36
PCカードの取り出しかた	37
携帯電話をハンズフリーで操作する	38
リセットのしかた	39

## 5. 付録

---

ディスクの正しい使いかた	40
保証書発行兼お客様登録カードとアフターサービス 仕様	42 44

1

2

3

4

5

## 高精度、高速化。ナビゲーションの基本機能がさらに充実。

### 精度専用のチップを搭載し、処理速度を向上しています

精度関連の処理を専門に行うチップを搭載しました。精度を向上させるだけでなく、スクロールやルート探索、検索など、すべてのナビゲーションの機能が速度アップしています。

### 3Dハイブリッドセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリッドセンサーで、坂道の登り降り（地面の傾斜）を感知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども的確に判断でき、測位に反映します。

### D-GPSやマップマッチング機能で、さらに精度を高めています

GPS衛星からの情報に含まれる誤差を修正するD-GPS（ディファレンシャルGPS）や、マップマッチング機能を備えているので、さらに精度よく測位できます。

### VICS（道路交通情報通信システム）の情報を利用できます<sup>1</sup>

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。

### 10mスケールまで地図を詳細にできます

10mスケールまでの詳細な地図を表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。

### DVDの大容量を活かした豊富な情報を収録しています

電話番号や郵便番号のデータ、各種施設のデータなど、2層DVD・8.5GBならではの豊富な情報が収録されています。データ量は膨大ですが、高速処理ができ、探したい場所もすぐに見つけられます。

### 音声でナビゲーションをコントロールできます

音声操作でナビゲーションを簡単かつ安全にコントロールできます。ナビゲーションの音声に答えていくだけで、ルート設定などの機能を操作できます。

### ナビゲーション本体でDVDビデオディスクを再生できます<sup>2</sup>

映画やライブビデオなど、DVDビデオディスクに収録された映像／音声を再生できます。

- 1 ビーコンによるVICS情報を受信するには、VICS用ビーコン受信機「ND-B3」（別売）が必要です。
- 2 DVDビデオの再生を行うには、別売のDVD-VIDEOカードが必要です。

## ナビゲーションの次のステップに。新しい機能。

### よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

ドライバーズビューやビジュアルシティマップで、よりドライバーの走行感覚に近い表示ができます。



1

はじめに

### よく使う道を学習。ルート探索に反映します

ナビゲーションが通った道を学習します。よく使う道をルート探索の際、優先的に利用させることができます。

### 細い道の探索も可能となり、ドアtoドア探索ができます

住宅地などの細い道路までも表示することができるため、まさに自宅から目的地までのドアtoドア探索ができます。

また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、細い道路であることを簡単に判別できます。

### PCカードを使って、機能の拡張やデータの保存・交換ができます

PCカードを使うことで、デジタルカメラで撮った映像を地図に貼り付けられます。また走行データなどを保存すれば、友人のDVDナビゲーションでもそのデータを利用することができます。

### 携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話が可能になります

携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーとマイクを使用して、ハンズフリーで通話することができます。ハンズフリー通話については38ページをお読みください。

### 検索で見つけた施設名から、直接インターネットにアクセスできます

携帯電話を接続してインターネットを利用できるようにすると、ナビゲーションの検索で見つけた施設名から、メニュー操作ひとつでその施設のホームページにアクセスし、詳しい情報を見ることができます。

### 車の中で気象情報を見ることができます

インターネットを利用すると、日本全国の気象情報を取り込んで、画面上で確認することができます。目的地付近の気象情報をチェックしておけば、充実したドライブプランを立てられます。

# ご使用前に知っておいていただきたいこと

## お使いになる地図ディスクについて

本機のご使用にあたっては、付属のナビゲーション用DVD-ROMディスク「DVDナビゲーションマップ・タイプ Vol.2」をお使いください。

「DVDナビゲーションマップ・タイプ Vol.1」や「DVDナビゲーションマップ・タイプ」は使用できません。また、CD-ROMディスク（「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など）も使用できません。

## 現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがあります。これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

## 安全走行のために

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にナビゲーションのメニュー操作はできないようになっています。（走行中は次のようなメッセージが画面に表示されます。）



安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

VICS情報を受信する設定にした場合は、VICSの規定により走行中は5.5m未満の道路（細街路）以外を走行中は細街路を表示しません。

## 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまうことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。このため日没の時刻になると、画面は自動的に夜画面に変わります。

昼画面・夜画面の切り換えを車のライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。(『ナビゲーションブック』Chapter9の「ナビゲーションの設定を変える」)



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

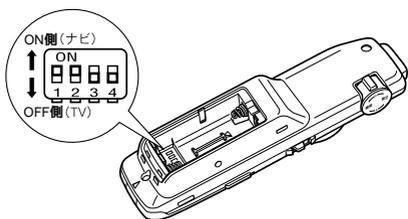
## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

# 準備1：リモコンの準備をする

## リモコン設定スイッチを切り換える

リモコンの裏ボタンをはずすと、下図で示した位置にリモコン設定スイッチがあります。組み合わせるTVモニターやカーステレオにより、必要に応じてスイッチをボールペンの先などで次のように設定してください。



- スイッチ1：ダブルディスプレイモード
- スイッチ2：ビジュアルセレクト
- スイッチ3：ナビゲーション・TVボリューム
- スイッチ4：オーディオボリューム

スイッチ1～3は、組み合わせるTVモニターに合わせて設定してください。設定を間違えると正しく動作しないのでご注意ください。

組み合わせるTVモニター	スイッチ1	スイッチ2	スイッチ3
TV-W8800	ON側	ON側	OFF側
TV-W8000、TV-W818、TV-W808	OFF側	OFF側	OFF側
AVX-P7700W、AVX-P7000W	ON側	OFF側	OFF側
AVX-P707W	使用しません	OFF側	OFF側
AVX-P7000CD	ON側	OFF側	ON側
他社製TV	使用しません	使用しません	ON側

通常はOFF側でお使いください。OFF側にすると、TVモニターの内蔵スピーカーの音量を調整できます。ON側で使用することもできます。この場合、ナビゲーションの音声案内だけの音量を調整できます。

スイッチ4は、組み合わせたパイオニア製カーステレオ（メインユニット）にDSPを接続したときはON側にします。DSPを接続していないときはOFF側でお使いください。

### Memo

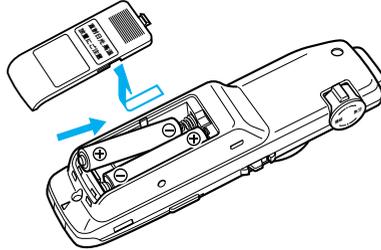
#### リモコンの取り扱いに関するご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- リモコン受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。

## リモコンに電池をセットする

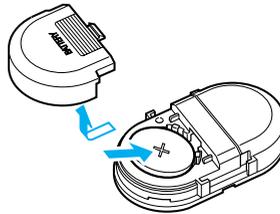
### リモコン

裏ボタンをはずして、単4形アルカリ乾電池（LR03）2本をセットします。



### 音声認識コントローラー

裏ボタンをはずして、リチウム電池（CR2032）を（+）側を上にしてセットします。



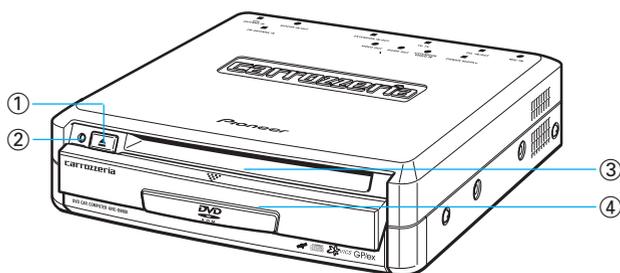
## Memo

### 電池の取り扱いに関するご注意

- 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- リモコンや音声認識コントローラーを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- リモコンや音声認識コントローラーからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

## 準備2：各部のなまえと主な働きを知る

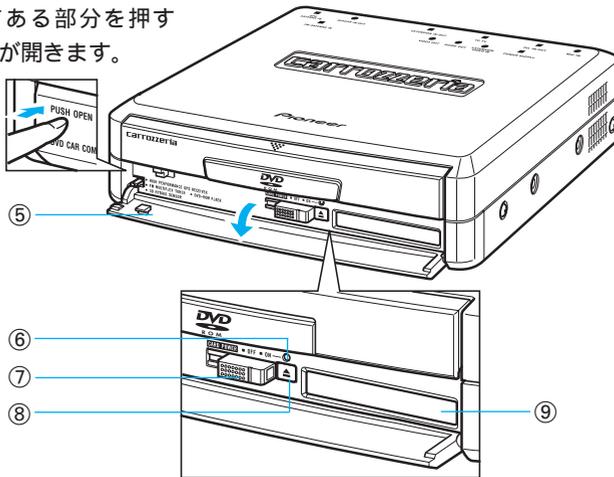
### ナビゲーション本体



- ① ディスク取り出しボタン
- ② リセットボタン（ 39ページ）
- ③ ディスク挿入口
- ④ フロントドア

下にスライドさせるとドアが開きます。

左上の「PUSH OPEN」と書いてある部分を押し、ドアが開きます。



⑤ PCカード挿入口カバー ( 36ページ )

⑥ CARD POWERランプ ( 36ページ )

PCカードが差し込まれていて、通電しているときに点灯します。

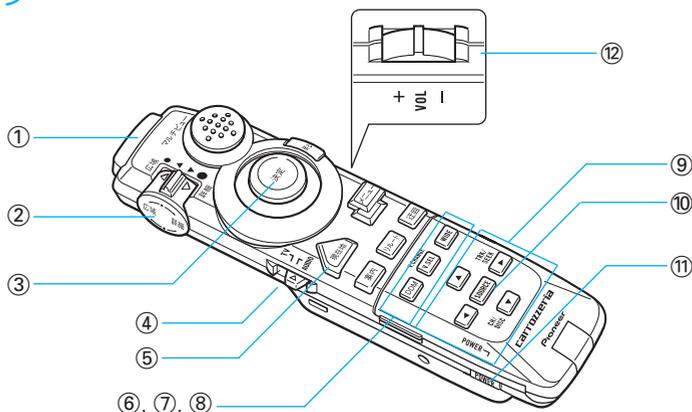
⑦ PCカードロックレバー ( 37ページ )

⑧ PCカード取り出しボタン ( 36ページ )

⑨ PCカード挿入口 ( 36ページ )

## リモコン / 音声認識コントローラー / マイク

### リモコン



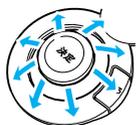
① リモコン送信部

ここからリモコンの信号が送られます。

② スケールコントローラー

地図の縮尺を変えるときに使用します。

③ ジョイスティック / [決定]ボタン



上下・左右・斜めに倒すと、ジョイスティックになります。



まっすぐ押すと、[決定]ボタンになります。

④ 操作モード切り換えスイッチ

( 18ページ)

⑤ [現在地]ボタン

地図上に自分の車の現在地を表示します。

⑥ [DDM]ボタン ( 30ページ)

2画面表示に切り換えるときに使用します。

⑦ [V.SEL]ボタン ( 28ページ)

見たい映像に切り換えるときに使用します。

⑧ [WIDE]ボタン ( 29ページ)

ワイド画面の種類を選ぶときに使用します。

⑨ [▲]ボタン / [▼]ボタン / [◀]ボタン / [▶]ボタン ( 18ページ)

⑩ [SOURCE]ボタン ( 18ページ)

⑪ [POWER]ボタン ( 23ページ)

本機の電源を入/切します。

⑫ VOLツマミ ( 18ページ)

手前に動かすと音量が小さくなります。

反対側に動かすと大きくなります。

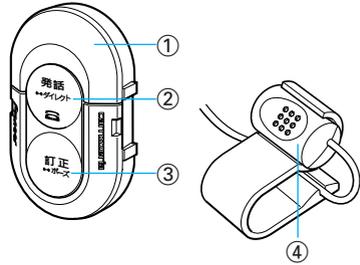
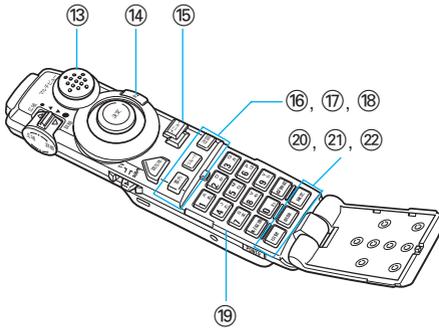
- 操作モード切り換えスイッチが「TV」のときは、TVモニターの内蔵スピーカーの音量を調整します。

- 操作モード切り換えスイッチが「AUDIO」のときは、パイオニア製カーステレオ (メインユニット)の音量を調整できます。

### Memo

～ および の各ボタンは、組み合わせたTVモニターやお使いのカーステレオによって一本書の説明と動作が異なったり、機能しない場合があります。

## 音声認識コントローラー/マイク



2

準備

⑬ マルチビューコントローラー  
地図の向きを変えたり、地図を見る角度を変えるときに使います。

⑭ [戻る]ボタン  
前の画面に戻るときに使います。

⑮ [メニュー]ボタン  
メニュー画面を表示させるときに使います。

⑯ [案内]ボタン  
ナビゲーションの音声案内をもういちど聞きたいときに押します。

⑰ [リルート]ボタン  
ルート探索をやりなおすときに押します。

⑱ [迂回]ボタン  
迂回路を探索させるときに使います。

⑲ 10キー  
ナビゲーションの電話番号検索や、携帯電話のダイヤル時などに使います。

⑳ [オフフック/切替]ボタン  
電話をかけるときや受けるとき、文字の種類を切り換えるときに使います。

㉑ [削除]ボタン  
入力した文字を削除するときに使います。

㉒ [オンフック/確定]ボタン  
通話を終了したり応答保留したりするときに使います。また、入力した文字を確定するときにも使います。

① 送信部  
ここから音声認識コントローラーの信号が送られます。

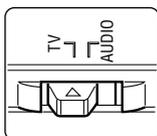
② [発話]ボタン  
• ナビゲーションを音声で操作したいときに押します。  
• 携帯電話を接続している場合、このボタンを押すと、かかってきた電話を受けられます。通話中に押すと電話が切れます。

③ [訂正]ボタン  
• 音声での操作中に、直前の操作を取り消すときに押します。  
• 携帯電話を接続している場合、このボタンを押すと、かかってきた電話を応答保留することができます。

④ マイク  
[発話]ボタンを押したあと、このマイクを通してナビゲーションを操作します。電話を利用する場合も、このマイクを使って通話します。

## リモコンの操作モードについて

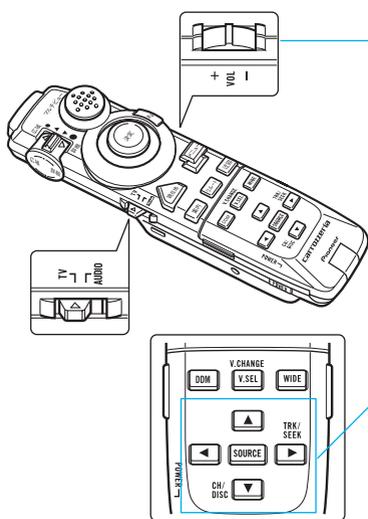
本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションの操作はもちろん、パイオニア製のテレビやカーステレオ(メインユニット)の操作も可能です。操作モードは、リモコンの左側面にある操作モード切り換えスイッチで切り換えます。操作モードを切り換えることによって、リモコンのVOLツマミや〔◀〕〔▶〕の各ボタンの働きが変わります。



「TV」にすると、テレビ操作モードに切り換わります。  
「AUDIO」にすると、オーディオ操作モードに切り換わります。

## テレビ操作モードに切り換えたとき

ナビゲーションの機能を利用して、テレビの操作を行います。



### VOL ツマミ

TVモニターの内蔵スピーカーの音量を調整できます。  
リモコン設定スイッチの設定によっては、ナビゲーションの音量を調整します。( 12ページ)

### 〔▲〕ボタン / 〔▼〕ボタン

自分がいる地域のテレビ局のチャンネルや記憶されているチャンネルを選局するときに使います。

### 〔◀〕ボタン / 〔▶〕ボタン

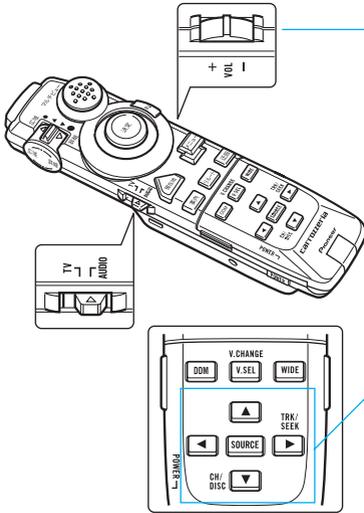
リスト表示されないチャンネルを選局するときに使います。

### 〔SOURCE〕ボタン ( 31ページ)

カーステレオのスピーカーからテレビの音声を出力したり、OFFにしたりできます。  
また、自分がいる地域で受信できるテレビ局をリスト表示させ、見たいチャンネルを選ぶときに使います。

## オーディオ操作モードに切り換えたとき

パイオニア製カーステレオ(メインユニット)の操作を行うことができます。(オーディオ操作モードでカーステレオの操作を行うときは、リモコンをカーステレオに向けて操作してください。)



### VOLツマミ

カーステレオの音量を調整できます。  
ツマミを押し込むと、音量が約1/10になります。  
(押し込むたびに、カーステレオのアッテネーターをON/OFFできます。)

### [▲][▼][◀][▶]の各ボタン

カーステレオの[▲][▼][◀][▶]の各ボタンと同じ働きをします。

### [SOURCE]ボタン

カーステレオのSOURCEボタンと同じ働きをします。

## Memo

- リモコンで操作を行うときは、スイッチの位置を確認してから操作してください。
- リモコン受光部はTVモニターやカーステレオに内蔵されています。リモコンはTVモニターやカーステレオに向けて操作してください。
- 受光部付スピーカー「CD-TS36」(別売)をお使いの場合は、リモコンは受光部付スピーカーに向けて操作してください。
- パイオニア製カーステレオにDSPを接続してご使用のときは12ページの説明をご覧ください。
- 組み合わせるTVモニターやカーステレオによっては、本機のリモコンで操作できない場合があります。

## リモコンのジョイスティック /〔決定〕ボタンの使いかた

本機のおさまざまな機能を使うためには、画面上に表示されるメニューなどの項目を選んで実行させる必要があります。

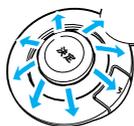
この操作は、リモコン上のジョイスティック /〔決定〕ボタンを使用して行いますので、使いかたを十分に理解しておいてください。

### 各説明書での表記

各説明書では、ジョイスティック /〔決定〕ボタンを操作の違いを明確にさせるために、ジョイスティックと〔決定〕ボタンとに使い分けて表記しています。

## ジョイスティックとして使う

画面上に表示されるメニューなどの項目を選ぶ場合や、地図を希望する場所まで動かしたりする場合に使用します。



ジョイスティックとして使う場合は、上下・左右・斜めに倒します。



### 項目の選択

この場合は、ジョイスティックを上下に倒すことで項目を選ぶことができます。選ばれた項目は、文字が反転表示されます。



### 地図を動かす（スクロール）

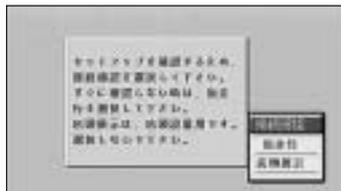
現在地が表示されている状態でジョイスティックを希望する方向へ倒すと、倒した方向へ地図が動きます。

## 〔決定〕ボタンとして使う

選ばれたメニューなどの項目を実行する場合や、ショートカットメニューを表示させる場合などに使用します。



〔決定〕ボタンとして使う場合は、まっすぐに押します。



### 項目の決定

メニューなどの項目を選んだ後に〔決定〕ボタンを押すと、選ばれた内容を実行します。



### ショートカットメニューの表示

地図画面上で〔決定〕ボタンを押すと、ショートカットメニューが表示されます。

## 準備3：ディスクを本体にセットして電源をONにする

### 電源の入れかた

1. 車のエンジンをかける
2. 本体前面のフロントドアを開ける



フロントドアを下にスライドさせます。

3. タイトル面を上にして、ディスクを挿入口に差し込む



#### 注意

ディスクをセットしたら、必ずフロントドアを閉じてください。

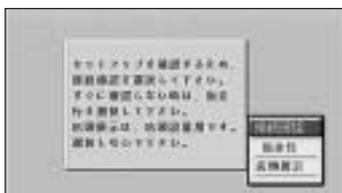
4. フロントドアを閉じる

ディスクをセットするといったん電源がON/OFFします。その後、再び電源がONになりオープニング画面が表示されます。



### Memo

リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後など起動動作の途中で、いったん電源がON/OFFすることがありますが、故障ではありません。



初めてお使いの場合は、しばらくすると上の画面が表示されます。このあとは24ページに進み、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。  
(センサーリセットが正しく行われると、次からは現在地を示す地図が表示されます。)

## 電源の切りかた

リモコンの〔POWER〕ボタンを長く押すと、電源がOFFになります。もう一度リモコンの〔POWER〕ボタンを長く押すと、再び電源がONになります。

## Memo

### お使いになるディスクについて

- 本機では、付属の本機専用DVD-ROMディスクをお使いください。
- 別売のDVD-VIDEOカードを組み合わせると、DVDビデオディスクを再生できます。

### ディスクの取り扱いについて

- セットしたディスクは、通常取り出す必要はありません。ディスクを交換する必要があるときは、ディスク取り出しボタンを押して、取り出します。
- 取り出したディスクは、ケースに入れて保管してください。

### 電源のON / OFFに連動してオートアンテナを上下させるには

- FM多重用アンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続している場合は、本機の電源がONのときにオートアンテナが上がるように設定します。10キーカスタマイズの「オートアンテナを上下する」を10キーのいずれかに割り当てて操作してください。(『ナビゲーションブック』Chapter10の「10キーをカスタマイズする」)

## 準備4：3Dハイブリッドセンサーをリセットする

本機の電源をONにしたら、高精度に自車位置を測位するために本体内蔵のセンサーをリセットします。初めてお使いになる場合は、必ずこの操作を行ってください。また、タイヤを変更した場合なども、この操作を行います。

### 3Dハイブリッドセンサーとは？

( 『ナビゲーションブック』 付録 )

#### こんなときはセンサーをリセットしてください

- 本機の取り付け完了後
- 本機の設置場所を変更したとき
- タイヤを変更したとき ( 『ナビゲーションブック』 付録 )
- 未使用のセンサーメモリーに切り換えたとき ( 『ナビゲーションブック』 Chapter9 の「ナビゲーションの設定を変える」)

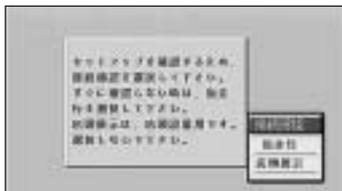
#### リセット作業に適した場所は？

正しくリセットを行うために、次のような場所を選んでください。

- しばらくの間、安全に停車できる場所
- GPS衛星の電波を受信しやすい、見晴らしの良い場所 ( 周囲に高い建物や樹木があったり、ビルの駐車場の中にいたりすると、GPS衛星の電波を受信できないことがあります。 )
- 水平な場所 ( 坂道や、路面の起伏が大きい場所では、正しくリセットできません。 )
- 30km/h 以上の速度で、10秒以上直進できる場所 ( 約100m程度の距離 )

## リセット作業を行う

1. 作業に適した安全な場所に車を止める
2. リモコンの〔POWER〕ボタンを押して、本機の電源をONにする
3. ジョイスティックを操作して画面から **接続確認** を選び、〔決定〕ボタンを押す [ 接続状態を見る ] 画面が表示されます。



## Memo

とりあえず車を移動したいときは、**仮走行**を選んでください。ただし、**仮走行**を選んだ場合は自転車位置の精度が悪く、またナビゲーションの機能も完全には使用できません。**仮走行**を行った後は、必ずセンサーリセットの操作を行ってください。(センサーリセットが完了するまでは、電源をONにし直すと、手順3の画面がしばらくの間表示されます。)

なお、**店頭展示**は、店頭でのデモンストレーション用なので、選ばないでください。

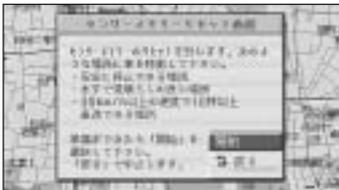
## 2

### 準備

4. ジョイスティックを上下に倒して **センサーリセット** を選び、〔決定〕ボタンを押す



5. ジョイスティックを上下に倒して **開始** を選び、〔決定〕ボタンを押す  
センサーのリセット作業が始まります。停車したままでしばらくお待ちください。



6. 走行開始のメッセージが表示され、音声案内に従って、車を走行させる  
水平な場所を、30km/hを目安に10秒以上、前方に直進させてください。



7. 作業終了のメッセージが表示され、音声案内が流れたら、安全な場所に車を止める

リセットが正しく行われると、画面上の自車マークが から▲に変わり、正しい現在地が表示されます。(リセットの状況により次の画面が表示されます。)

3Dハイブリッドで動作するとき



リセットがすべて完了すると、3Dハイブリッドで動作します。約10秒後にメッセージが消え、現在地画面に戻ります。

簡易ハイブリッドで動作するとき



車速パルスが認識できないときは、簡易ハイブリッドでの動作となります。**確認**を選んで〔決定〕ボタンを押すと現在地画面に戻ります。

エラーメッセージが表示されたときは

正しくリセットできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。



このようなメッセージが表示されたときは、〔決定〕ボタンを押し、次ページを参照してエラーの原因を取り除いてから、センサーリセットの操作をやり直してください。

## 停車中にエラーメッセージが表示されたときは(25ページ、手順5)

車を停車させ、センサーリセットの準備を行っているときには、次のようなメッセージが表示されます。

「本機の取付け位置を変更して下さい。」

停車状態で本機に大きな振動が伝わると、3Dハイブリッドセンサーがリセットされません。なるべく振動が伝わらない位置に、本機を取り付け直してください。

「車速パルスが検出されました。車を停止してリセットを行なって下さい。」

- 車が動いてしまった可能性があります。車を停止させた状態でセンサーリセットの操作をやり直してください。
- 車を停止させた状態でこのメッセージが表示される場合は、『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「GPSが測位できません。見晴らしのよい場所へ移動して下さい。」

- 建物や樹木などにより、衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動してください。
- 見晴らしのよい場所でも測位できない場合は、[接続状態を見る]画面でGPSアンテナの接続状態を確認してください。また、GPSアンテナを車室内(ダッシュボード上など)に取り付けている場合、必ず付属の金属シートを使用してください。金属シートを使わなかったり、金属シートを切って使用すると、GPSアンテナの感度が落ちてしまいます。
- [接続状態を見る]画面でGPS感度を確認しながら、感度が一番良くなる場所にアンテナを取り付けてください。

## 走行中にエラーメッセージが表示されたときは(25ページ、手順6)

車を走行をさせてもセンサーリセットが行われなかった場合は、次のようなメッセージが表示されます。

「GPS受信が不安定です。見晴らしのよい場所で行なって下さい。」

建物や樹木などにより衛星からの電波が受信できていないことが考えられます。見晴らしの良い場所に移動して、センサーリセットの操作をやり直してください。

「Gセンサーの向きが間違っています。取付説明書を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して本機を取り付ける方向を変えるか、本機の底面にある角度の設定を変更してください。

「車速パルスが異常です。接続を確認して下さい。」

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。

「30km/h以上で走行して下さい。」

なるべく水平で、30km/h以上で直進走行できる場所に移動してから、センサーリセットの操作をやり直してください。

# テレビを操作する

パイオニア製TVモニターと組み合わせている場合には、本機に付属のリモコンでTVモニターの操作を行うことができます。

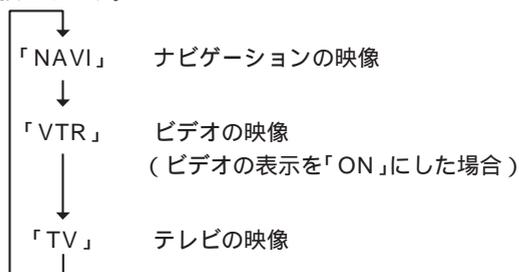
組み合わせるTVモニターによっては、一部説明と動作が異なったり、機能しない場合があります。

## 見たい映像に切り換える

ナビゲーションの映像からテレビやビデオの映像に切り換えることができます。

### 1. リモコンの〔V.SEL〕ボタンを押す

〔V.SEL〕ボタンを押すたびに、ナビゲーションやテレビ、ビデオの映像が順に切り換わります。



## Memo

- リモコンの〔V.SEL〕ボタンは、TVモニターの〔V.SEL〕ボタン（TVモニターによっては〔V.CHANGE〕ボタン）と同じ働きをします。
- TV-W8800と組み合わせ、2画面表示を行なっているときにリモコンの〔V.SEL〕ボタンを押すと左右の映像が入れ換わります。見たい映像に切り換える前に2画面表示を解除してください（「2画面で見る」30ページ）。
- AVマスターユニット「AVM-P7000」と組み合わせた場合は、本機の〔V.SEL〕ボタンでは、ナビゲーションの映像に切り換わりません。AVマスターユニットで操作してください。

## ワイド画面の拡大のしかたを変える

通常の映像（縦横比 4:3）を、ワイド映像（縦横比 16:9）に拡大する方法を選ぶことができます。見たい映像に合わせて、ワイドモードを切り換えてください。

### 1. テレビまたはビデオの映像を表示させる

ナビゲーションの映像が表示されている場合は、リモコンの〔V.SEL〕ボタンを押して、テレビまたはビデオの映像を表示させてください。

（ナビゲーションの映像の場合、ワイドモードは切り換えられません。）

### 2. リモコンの〔WIDE〕ボタンを押す

〔WIDE〕ボタンを押すたびに、ワイドモードが切り換わります。

### Memo

- リモコンの〔WIDE〕ボタンは、TVモニターの〔WIDE/MENU〕ボタンと同じ働きをします。
- AVX-P707W、AVX-P7000W、AVX-P7700Wと組み合わせた場合は、ナビゲーションの映像もワイドモードを切り換えることができます。

## 2画面で見る

組み合わせたTVモニターによっては画面を2分割して、ナビゲーションとテレビの映像を同時に見ることができます。

### 「TV-W8800」と組み合わせた場合

- 1.〔DDM〕ボタンを押して、2画面モードを切り換える
- 2.〔V.SEL〕ボタンを押して、左右の映像を入れ換える

### 「TV-W8000」と組み合わせた場合

- 1.〔DDM〕ボタンを押して、2画面モードを切り換える  
〔DDM〕ボタンを押すたびに、1画面 ピクチャー・サイド・ピクチャー ピクチャー・イン・ピクチャーの順に切り換わります。
- 2.〔V.SEL〕ボタンを押して、映像の組み合わせを選ぶ  
見たい組み合わせになるまで、〔V.SEL〕ボタンを押してください。

### 「AVX-P7700W」「AVX-P7000W」「AVX-P7000CD」と組み合わせた場合

- 1.ナビゲーションの映像にする
- 2.リモコンの〔DDM〕ボタンを押す  
2画面表示に切り換わります。



1画面で表示したとき



2画面で表示したとき

### Memo

- 2画面とも同じ映像にすることはできません。
- 2画面表示のときにナビゲーションの操作を行うと、操作をしやすくするため、ナビゲーションの映像や操作ウィンドウが優先的に表示されます。（一時的に1画面表示になることもあります。詳しくは『ナビゲーションブック』付録の「2画面でのナビゲーションの映像」をご覧ください。）
- TV-W8800と組み合わせて2画面で表示したときは、〔V.SEL〕ボタンを押しても見たい映像に切り換える（28ページ）ことはできません。〔DDM〕ボタンを押してから切り換えてください。
- 組み合わせたTVモニターに応じて、12ページの説明をご覧ください。リモコン設定スイッチの設定を変えてください。

## カーステレオからテレビの音声を出力する（音声ソース切り換え）

FMトランスミッター機能などを利用して、カーステレオでテレビの音声を聞く設定にしている場合は、ナビゲーションの音声ソースを「テレビ」に切り換えてください。

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
2. リモコンの〔SOURCE〕ボタンを短く1回押す



ボタンを押すたびに、「テレビ」と「テレビ音声オフ」が交互に切り換わります。「テレビ音声オフ」のときは、カーステレオから音声は出力されません。

## リストを表示してチャンネルを選ぶ

現在自分がいる地域の代表的なテレビ局のチャンネルと、テレビ側に記憶されているチャンネルを、合わせてリスト表示できます。また、そのリストから見たいチャンネルを選ぶことも可能です。

以下の場合、この操作はできません。

- 他社製TVと組み合わせたとき
- パイオニア製TVモニターをAUDIO MASTERおよびTV MASTERで使用しているとき

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
2. リモコンの[ SOURCE ]ボタンを2秒以上押し  
チャンネルがリスト表示されます。



3. リモコンの[▲]ボタン/[▼]ボタンを押して、見たいチャンネルを選ぶ

### Memo

- 「テレビ音声オフ」のときは、この操作はできません。(「カーステレオからテレビの音声を出力する(音声ソース切り換え)」31ページ)
- 自分がいる地域の代表的なテレビ局は、ナビゲーションが測位した現在地と、ディスクに収録されている地域別のテレビ局のデータを元に、リスト表示されます。
- 代表的なテレビ局としてディスクに収録されているチャンネルは、テレビ局の名前で表示されます。
- テレビ側に記憶されているチャンネルは、「チャンネル」と表示されます。ただし、そのチャンネルが代表的なテレビ局でもある場合は、テレビ局の名前で表示されます。
- 旅行や出張などで、受信できるチャンネルが異なる地域に移動した場合でも、測位した現在地情報をもとに、その地域に合ったチャンネルがリスト表示されます。
- 代表的なテレビ局としてリスト表示されても、現在地周辺の環境や電波の状況によっては、受信できない場合があります。
- ディスクに収録されていないテレビ局は表示されません。新しく開局したテレビ局などは、自動選局で受信してください(「一覧表示されないチャンネルを見る」34ページ)。

## 自分がいる地域のチャンネルを選ぶ（エリア選局）

リスト表示させる操作を省略して、現在自分がいる地域の代表的なテレビ局のチャンネル（およびテレビ側に記憶されているチャンネル）を簡単に選局できます。

以下の場合、この操作はできません。

- 他社製TVと組み合わせたとき
- パイオニア製TVモニターをAUDIO MASTERおよびTV MASTERで使用しているとき

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
2. リモコンの[▲]ボタン/[▼]ボタンを押す  
リスト表示されるチャンネルに、順番に切り換わります。



### Memo

「テレビ音声オフ」のときは、この操作はできません。（「カーステレオからテレビの音声を出力する（音声ソース切り換え）」31ページ）

## 一覧表示されないチャンネルを見る

一覧表示されないチャンネルでも、受信状態の良いチャンネルは自動的に選局することができます。また、電波が弱いために自動選局できないチャンネルは、手動で選局することができます。

1. リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」にする
2. リモコンの[◀]ボタン/[▶]ボタンを押して、チャンネルを選ぶ  
ボタンを押す長さによって、次のように選局方法を使い分けることができます。

選局方法	ボタンを押す長さ
手動選局（1ステップずつ）	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

### *Memo*

途中の放送局をとばしたいときは、ボタンを0.5秒以上押し続けます。ボタンを離れたところで、自動選局を開始します。

リモコンでは、ナビゲーションの機能を利用したテレビの操作も行うことができます。(この場合、ナビゲーションがテレビをコントロールします。)

- 31ページから34ページまでの操作は、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「TV」側に切り換えて行ってください。なお、「AVX-P7000CD」ではこれらの操作を行うことはできません。
- 31ページから34ページまでの操作は、ナビゲーションの映像を表示させてから行うことをおすすめします。リモコン操作を行うとナビゲーションの映像の上に操作ウィンドウが表示されるので、操作内容が確認しやすくなります。(2画面表示にしているときでも操作ウィンドウは表示されます。)



- 操作ウィンドウは、操作後、約8秒間表示されます。操作ウィンドウをすぐに消したいときは、リモコンの〔戻る〕ボタンを押してください。
- ナビゲーションの映像が表示されていないときは、操作ウィンドウは表示されませんが、操作を行うことはできます。(この場合、受信チャンネルなどは、テレビ側の表示で確認できます。)

# PCカードの取り付けかた・取り出しかた

本機では、PCMCIAタイプIIのATAフラッシュカード「CNFC-8M」(別売)などを利用できます。

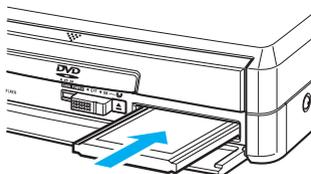
## PCカードの取り付けかた

### 1. PCカード挿入口カバーを開ける



左上の「PUSH OPEN」と書いてある部分を押し、ドアが開きます。

### 2. PCカードをセットする



PCカードのタイトル面を上にして、カードに記載されている矢印の向きにPCカードを差し込みます。PCカード取り出しボタンが前に出て、カチッとロックされるまでしっかり差し込んでください。

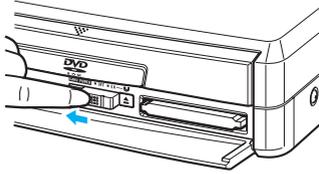
PCカードが正しくセットされると、本機の電源がONになっているときはCARD POWERランプが点灯し、PCカードが使えるようになります。

### Memo

PCカードは本機の電源のON/OFFに関係なくセットや取り出しができます。

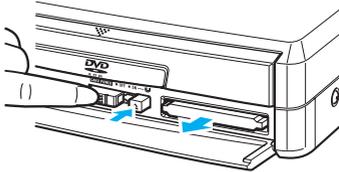
## PCカードの取り出しかた

1. PCカードロックレバーを左にスライドさせて、指で押さえる



CARD POWERランプが消灯します。(本機の電源がOFFのときは、ランプは消灯しています。)

2. ランプの消灯を確認してから、PCカード取り出しボタンを押す



PCカードが前に出てきます。

3. PCカードロックレバーから指をはなし、カードを取り出す  
取り出したカードはケースに入れて保管してください。

### Memo

#### PCカードの取り扱いに関するご注意

- CARD POWERランプの点灯中にカードを引き抜かないでください。ナビゲーション本体およびPCカードの破損の原因になります。
- PCMCIAタイプII(5V)以外のカードは使用できません。規格の異なるカードを差し込むと、カードスロットが破損するなどの故障の原因となります。

# 携帯電話をハンズフリーで操作する

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、携帯電話をハンズフリーで操作できます。

## 電話を受ける

電話がかかってきたときに、音声認識コントローラーの〔発話〕ボタンを押すと、電話がつながります。音声操作マイクを通して通話します。



### 注意

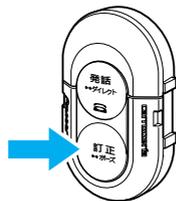
- ハンズフリー通話では、通話相手の音声は受光部付スピーカー「CD-TS36」(別売) または組み合わせたTVモニターの内蔵スピーカーからのみ出力されます。
- 通話中はナビゲーションを音声で操作することはできません。

## 電話を切る

通話中に〔発話〕ボタンを押すと、電話が切れます。

## 電話を応答保留する

電話がかかってきたときに、音声認識コントローラーの〔訂正〕ボタンを押すと、応答保留することができます。応答保留中に〔発話〕ボタンを押すと、電話につながります。応答保留中に〔訂正〕ボタンを押すと、電話が切れます。



応答保留中、通話相手には「間もなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけなおしてください。」といったメッセージが流れます。(メッセージは携帯電話事業者によって異なります。)

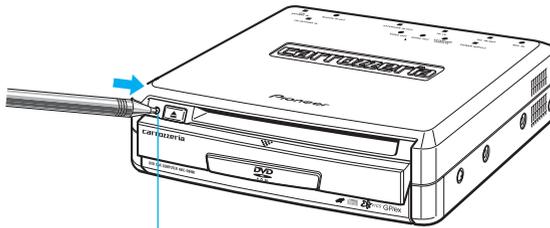
## Memo

- ナビゲーションのメニュー操作中に電話がかかってきた場合、それまでの操作がキャンセルされ、電話を受けられる状態になります。
- 本機のリモコンを使って電話をかけることもできます。(『ナビゲーションブック』Chapter8の「携帯電話を利用する」)

次のようなときは、本機のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

ボールペンの先などで、リセットボタンを押します。



リセットボタン

## Memo

リセットボタンを押した後やバッテリーを外した後など起動動作の途中で、いったん電源がON/OFFすることがありますが、故障ではありません。

# ディスクの正しい使いかた

## 使用できるディスク

本機では、付属の本機専用DVD-ROMディスクのみが使用できます。(「お使いになる地図ディスクについて」10ページ)

一般のDVD-ROMやCD-ROM、音楽CDなど、本機専用以外のディスクは使用できません。

ひび、キズ、そのあるディスクは使用しないでください。



## 取り扱い上のご注意

ディスクは、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように、持ってください。

ディスクにキズを付けないでください。ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



## Memo

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



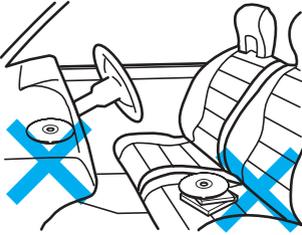
ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、ディスクのクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

## 保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなってしまうことがあります。)

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

高温になると、保護機能が働き、ナビゲーションの動作が停止します。

## 保証書発行兼お客様登録カード

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ですが、住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード」を必ず弊社までご返送くださるようお願いいたします。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に記入してください。お客様登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。（ご返送いただけない場合はお客様の登録ができないため保証書の発行ができません。）送られてきた保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

なお、保証書のお届けには約3週間ほどがかかります。保証書が届くまでの間、「保証書発行兼お客様登録カードお客様控」は保証書の代わりになります。大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

## ご質問、ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更がございましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター：☎0070-800-8181-11

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

## 無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはバイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のバイオニアサービスステーションにご依頼ください。
4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お近くのバイオニアサービスステーションへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
  - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
  - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
  - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
  - 保証書の文字を書きかえられた場合。
  - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
  - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
 

This warranty is valid only in Japan.
7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
  - \* 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、バイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
  - \* 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

## ナビゲーション本体（GPS部）

方式：  
L1、C/A コード GPS、SPS スタンダード・ボジショニング・サービス  
受信方式：  
8チャンネル マルチ チャンネル受信方式  
受信周波数：  
1,575.42 MHz  
感度：  
- 130 dBm  
測位更新時間：  
約1回/1秒

## ナビゲーション本体

映像出力レベル：  
1 Vp-p、75 不平衡、同期負  
最大消費電流：  
1.5 A  
使用電源：  
DC 14.4 V（10.8～15.1 V使用可能）  
アース方式：  
マイナスアース方式

## GPSアンテナ

アンテナ：  
マイクロストリップ平面アンテナ/右円偏波  
アンテナケーブル長：5.0 m

## 外形寸法

ナビゲーション本体：  
200 (W) x 52 (H) x 209 (D) mm  
GPSアンテナ：  
46 (W) x 46 (H) x 13 (D) mm  
リモコン：  
38 (W) x 145 (H) x 30 (D) mm  
音声認識コントローラー：  
34 (W) x 56 (H) x 16 (D) mm

## 質量

ナビゲーション本体：  
2.1 kg  
GPSアンテナ：  
130 g  
リモコン：  
80 g（電池含む）  
音声認識コントローラー：  
20 g（電池含む）

## 付属品

DVD-ROMディスク：1  
リモコン：1  
単4形アルカリ乾電池（LR03）：2  
コード類：1式  
取付キット：1式  
取付説明書：1  
スタートブック：1  
クイックブック：1  
ナビゲーションブック：1  
安全上のご注意：1  
保証書発行兼お客様登録カード：1  
ご相談窓口・修理窓口のご案内：1  
VICISサービス契約約款：1  
音声認識コントローラー：1  
リチウム電池（CR2032）：1  
マイク：1

## Memo

- 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよくないチャンネル（電波の弱いチャンネル）は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。







スタートブック

**START  
BOOK****お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)****カスタマーサポートセンター****カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口****☎0070-800-8181-11****カタログのご請求窓口****☎0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。  
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内  
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

**パイオニア株式会社**

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

&lt; 99J00F0K00 &gt; &lt; CRA3042-A &gt;